

第 5 回 長谷地域協議会会議録

開 催 日	平成 27 年 1 月 20 日 (火)					
開 催 時 間	開 会	午後 6 時 30 分	閉 会	午後 7 時 34 分		
開 催 場 所	長谷総合支所 大会議室					
長 谷 地 域 協 議 会 委 員 の 出 欠 出 席 12 人 欠 席 3 人	番号	委員氏名	出欠	番号	委員氏名	出欠
	1	西 村 美 里		9	中 山 咲 子	
	2	小 松 正 樹		10	池 上 武	欠
	3	北 島 常 春		11	中 山 和 文	
	4	池 上 久 榮		12	宮 下 常 雄	
	5	伊 澤 芳 宣		13	西 村 利 美	
	6	西 村 きわ子		14	黒河内 修	欠
	7	宮 下 修 一		15	伊 藤 多喜江	欠
	8	中 山 秀 穂				
署 名 委 員	7 番	宮 下 修 一		8 番	中 山 秀 穂	
委 員 以 外 の 出 席 者 出 席 12 人 欠 席 0 人	<p>長谷地域自治区長：池上直彦、長谷総合支所次長：田中博文、同市民生活課長：下平貞明、同保健福祉課長：中村勇治、同産業振興課課長：中村徳彦、同建設課長：松澤 正、高遠長谷水道課長：小松直樹、高遠長谷教育振興課長：森田英和、伊那市消防団長谷分団長：黒河内浩人、同長谷副分団長：伊藤修一</p> <p>長谷総合支所総務課補佐：西村貢一、同地域振興係：西村 潤</p>					
配 布 資 料	<p>(1) 伊那市消防団 東部地区分団再編計画 (案)</p> <p>(2) 長谷地域自治区のあり方について</p> <p>(3) 長谷循環バス戸台口周辺のバス停名について</p>					
会 議 事 項	<p>報告事項</p> <p>(1) 伊那市消防団の再編について</p> <p>(2) 長谷地域自治区のあり方について</p> <p>その他</p> <p>(1) 長谷循環バス戸台口周辺のバス停名について</p>					
	<p>1 開会 (午後 6 時 30 分)</p> <p>2 議事録署名人の指名 議事録署名人に「7 番：宮下修一委員」「8 番：中山秀穂委員」を指名</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 伊那市消防団の再編について 伊那市消防団長谷分団から今後の長谷分団の機械器具等の配置につ</p>					

いて案の説明が行われる。平成 26 年度から伊那市消防団は再編により 3 方面隊の体制で活動している。団員数、機械器具等の配置についても今後、見直しを行うにあたり、長谷分団の考えを報告。団員は 70 人に減らし、機械器具等の配置は、団員の負担軽減のため、詰所・車庫は 8 棟、ポンプ車は 2 台、積載車等は 7 台、小型ポンプは 7 台と考えている旨を報告。区長会には既に報告をしてあるとし、団員数は条例で定められていることから伊那市全体での協議が必要であり、長谷分団としてはこの案で話を進めていき、機械器具については、今年度（平成 26 年度）3 月末までに削減を行いたいとした。

委員から、火災のみでなく災害等も考えた中での団員数の確保や、機械器具等は直ぐに廃棄せず身近に置き活用できないか。消防団員の負担を軽減させるため、防火水槽等の管理について区に協力を要請していくことも必要。また、施設等の管理が軽減できるような工夫をしていく必要がある。火事を出さない意識付けが大事などの意見が出された。

（２）長谷地域自治区のあり方について

平成 26 年 12 月 24 日に伊那市地域自治区制度審議会が行った「伊那市の地域自治区制度のあり方について」の答申について、答申された内容の確認を行った。

地域自治区の今後のあるべき姿として、旧伊那市地域は現行（地方自治法に基づく）の地域自治区を存続し、高遠町地域及び長谷地域は合併特例法に基づく地域自治区から、旧伊那市地域と同じ地方自治法に基づく地域自治区への移行が適当とした。

地域協議会については、今後、地域の活性化に向けた実りある効果が高い協働のまちづくりの取り組みが展開されるよう期待するとし、高遠町地域協議会及び長谷地域協議会については、今後も地域課題の検討機関又は議決機関としての役割を担い、更なる地域の活性化に向けて、多方面からの活動展開が望まれるとした。その他に、協議会の判断で予算の使途を決定できるようにすることが望ましいや、委員の任期を 2 年が適当とし、運営等の継続性を維持すると共に、活動の停滞を招くことがないように、改選時には半数以上の委員の再任が図られるよう努めていくことが望ましいなどの意見もあった。

4 その他

（１）長谷循環バス戸台口周辺バス停名について

仙流荘周辺を「南アルプス戸台口」と呼び名を付けたことに関連して、長谷循環バスの現在の戸台口バス停・仙流荘バス停について、南アルプス林道バスのバス停と同じ名前を使用していることから、バス停名の変

更等を行うにあたり、利用者が混乱することが無いよう南アルプス林道バスと協議しながら足並みを揃えていくことが確認された。併せて、山岳雑誌等への周知も図り、「南アルプス戸台口」の名称が定着するようにして必要があるとの意見が出された。

(2) その他

除雪対応や、凍結時の対応。空き家バンク登録物件数についての意見や質問が出された。

5 次回日程について

次回、第6回長谷地域協議会の開催予定は未定。

6 閉会（午後7時34分）